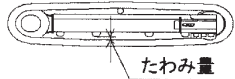
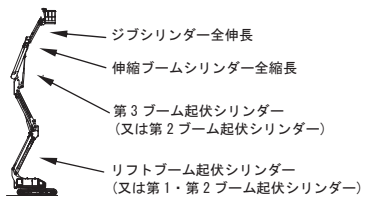
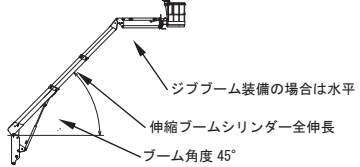
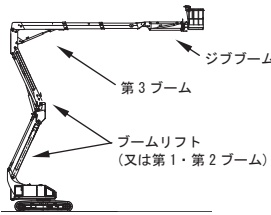
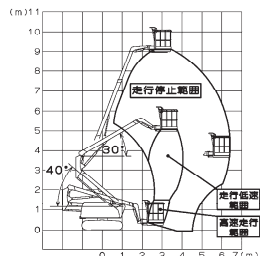


長野工業

適用範囲		モデル名			NUL090-5		NUL120-5		NUL090-6		NUL120-6	
		適用号機			9NU53051～		12NU53051～		9NU63051～		12NU63051～	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法			単位	検査基準値						
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1300±50	1300±50	1350±50	1350±50	1350±50	1350±50		
			ハイアイドル	min ⁻¹	2500±50	2500±50	2550±50	2550±50	2550±50	2550±50		
		弁すき間	吸気弁	mm	0.25	0.25	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185		
			排気弁	mm	0.25	0.25	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185		
	冷却方式	圧縮圧力		Mpa	2.9	2.9	3.23～3.62	3.23～3.62	3.23～3.62	3.23～3.62		
				(kgf/cm ²)	(30)	(30)	33～37	33～37	33～37	33～37		
		回転速度		min ⁻¹	290	290	250	250	250	250		
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張りの張り ※ベルト押し付け力		mm	10～12	10～12	10～12	10～12	10～12	10～12		
				N	98	98	98	98	98	98		
				(kgf)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)		
走行装置	走行ブレーキ	制動距離	m	—	—	—	—	—	—	—		
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配	°	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5		
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm 以下	1	1	1	1	1	1		
			左右	mm 以下	1	1	1	1	1	1		
		スライディングパッド 使用限界	ブーム	—	第3	第3	第3	第3	第3	第3		
			上	mm 以下	9	11.5	9	11.5	9	11.5		
			下	mm 以下	8	9	8	9	8	9		
			左右	mm 以下	13	17.2	13	17.2	13	17.2		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	20.6	20.6	20.6	20.6	20.6	20.6		
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	(210)	(210)	(210)	(210)		
		走行側	Mpa	20.6	20.6	20.6	20.6	20.6	20.6			
				(kgf/cm ²)	(210)	(210)	(210)	(210)	(210)	(210)		
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—	—	—	—	—	—		
			高速	min ⁻¹	2500	2500	2500	2500	2500	2500		
	油圧シリンダー	作動油 油温		—	VG32	VG32	VG32	VG32	VG32	VG32		
				°C	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10		
安全装置	車体傾斜角 警報装置	自然伸縮量	各ブーム(※2)	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下		
		作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5		
	左右		°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5			
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ(※6)	m	第1 0.4 第2 1.5	リフト 0.7 第3 1.6	第1 0.4 第2 1.5	リフト 0.7 第3 1.6	第1 0.4 第2 1.5	リフト 0.7 第3 1.6		
			走行停止規制(※6)	m	第1 2.0 第2 3.5	リフト 3.3	第1 2.0 第2 3.5	リフト 3.3	第1 2.0 第2 3.5	リフト 3.3		
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	—	—	—	—	—	—		
			上昇不可	kg	—	—	—	—	—	—		
総合テスト	第1ブーム(リフト) (※4)	上	sec	12±6	18±6	12±6	18±6	12±6	18±6			
		下	sec	12±6	18±6	12±6	18±6	12±6	18±6			
		第2ブーム(第3ブーム) (※5)	上	sec	26±6	28±6	26±6	28±6	26±6	28±6		
			下	sec	26±6	28±6	26±6	28±6	26±6	28±6		
		伸縮ブーム	伸	sec	15±6	17±6	15±6	17±6	15±6	17±6		
			縮	sec	15±6	23±6	15±6	23±6	15±6	23±6		
	作動速度	ジブブーム	上	sec	—	—	—	—	—	—		
			下	sec	—	—	—	—	—	—		
		バスケット旋回	右	sec	8±6	11±6	8±6	11±6	8±6	11±6		
			左	sec	8±6	11±6	8±6	11±6	8±6	11±6		
		旋回	右	sec/360°	75±6	80±6	75±6	80±6	75±6	80±6		
			左	sec/360°	75±6	80±6	75±6	80±6	75±6	80±6		
		走行	2速	km/h	—	—	—	—	—	—		
高	km/h	1.3±0.1	1.3±0.1	1.3±0.1	1.3±0.1	1.3±0.1	1.3±0.1					
低	km/h	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1					

クローラ式（内燃機式）

[illegible]

※ 1、クローラ張り調整 1、クローラを地面から浮かせて下さい。 2、クローラの中央部に最も近いトラックローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。 3、たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーのグリス量を調整します。	※ 2、ブームシリンダー自然降下量測定 1、伸縮ブームシリンダーを全縮長にします。 2、各ブームシリンダーを最伸長にします。 3、そのままの姿勢で10分間放置しシリンダーの縮み量を測定します。
	
※ 3、伸縮シリンダー自然降下量測定 1、伸縮ブームを全伸長にします。 2、ブーム起伏角度を45°にします。 3、そのままの姿勢で10分間放置し伸縮ブームの縮み量を測定します。 4、ジブブーム装備の場合は水平にします。	※ 4、5 ブーム作動速度 ※NUL120-2の場合ブームの名称が異なります。 第1ブーム→ブームリフト（第1、第2ブームの同調起伏） 第2ブーム→第3ブーム
	
※ 6、走行規制高さ 1、バスケットが地上から規定の高さ以上上昇した場合に走行が停止又は減速します。 2、走行が停止又は減速した際スケールにてバスケットの作業床から地面までの高さを測定します。 3、ブームの規制角度、長さはサービスマニュアルを参照して下さい。	NUL090-5, 6 走行規制高さ 
NUL120-5, 6 走行規制高さ 